

# 高松市公共施設再編整備実施計画

対象施設名	高松テルサ	所管課	産業振興課
本計画作成年月	平成30年7月	公表年月	平成30年10月

## 高松市公共施設再編整備計画(案)の記載事項

記載箇所	37ページ	総合評価	廃止	目標使用年数	10年
建築年 (主たる建物)	平成5年 (築25年)	総延床面積	14,849.71㎡	管理運営方式	指定管理

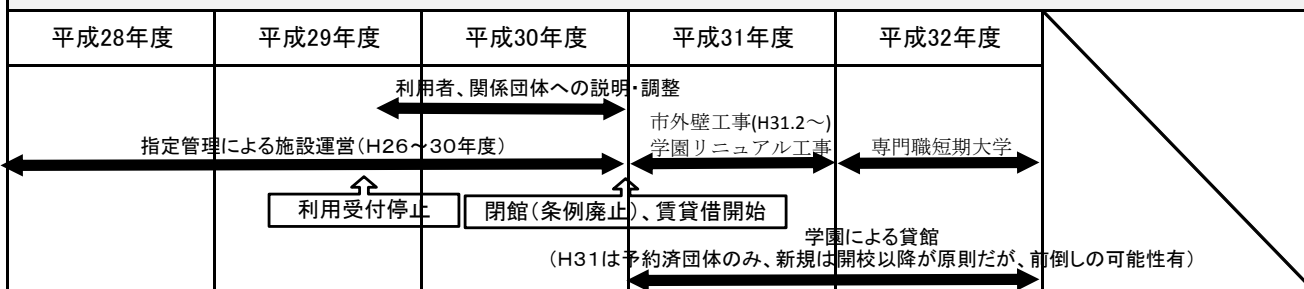
### 本計画実行に至るまでの経緯

- ・高松テルサの有効活用に向けてのサウンディング型市場調査実施(H28. 7) 立地がよくない等厳しい意見有
- ・高松市公共施設再編整備計画(案)1次(対象:80施設)に関するパブリックコメントの実施 (H28. 7~H28. 8) 意見なし
- ・高松市公共施設再編整備計画(案)1次に関する市民説明会を開催 (H28. 8~H28. 10)
- ・穴吹学園による専門職短期大学開校構想の公表(H29. 12)
- ・穴吹学園から高松テルサの借入等の協力要請(H29. 12)
- ・市議会で穴吹学園の要請に前向きに応える方針を表明(H30. 3)
- ・利用者、関係団体等への説明・調整開始(H30. 3)

### 本計画の概要

- ・穴吹学園への貸付開始以降の利用希望については、予約受付を停止し、代替施設の案内も含めた説明等を実施(2年前予約の制度を利用し、既に予約済であった団体については学園が貸館する方向で調整)。
- ・平成30年度末をもって、高松テルサは閉館(条例廃止、行政財産の用途廃止)し、平成31年4月1日から穴吹学園に土地・建物等を貸し付ける(賃貸借契約書の写しが文科省への認可申請時に必要なため、事前に契約締結予定)。
- ・貸付料は約1,500万円/年、貸付期間は公有財産事務取扱規則に則り5年とするが、認可申請のためには、20年以上の貸付期間を担保する必要があるため、契約とは別に確認書を交わす予定。ただし、契約条件は5年毎の契約締結の都度、相互に協議したうえで決定する予定。
- ・31年度中に市の外壁工事と学園によるリニューアル工事等を完了し、平成32年4月に専門職短期大学開校予定。
- ・貸付開始後も、学校運営に支障のない範囲で、学園が主体となり、ホール・会議室の一部を市民に開放(貸館)する。貸館の条件等については、学園が検討し公表予定。

### 年度別計画(予定)



事業実施のための概算費用 147,269千円(外壁工事)

**見込まれる効果**

(政策面)

- ・地域の活性化を担う人材の輩出や、若者の県外流出の抑制が期待できます(市戦略の推進)。
- ・政策コンテスト(若者の提案)の実現につながります。
- ・これまでの施設(MICE)機能も、縮小はしますが、学園による独立採算で存続させることができます。

(財政面)

- ・貸付料収入(約1,500万円/年)を確保できるほか、指定管理料(約8,500万円/年)の削減が見込まれます。
- ・外壁及びつり天井の改修を除き、施設・設備等の維持管理及び修繕については、大規模改修も含め、原則として借主の負担とすることから、今後の維持修繕費用の削減が見込めます。

**その他**

平成15年に国の持ち分を市が買い取った際の契約では、平成35年3月までは、事業計画に定めるところの公用等用途に供さなければならないとされていますが(平成30年度末で7,450万円)、この計画内容であれば、公用等用途の範囲内で、違約金は発生しない旨厚生労働省に確認済です。